

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

地域	記入内容（原文のまま記載）
	<p>発行回数変更に伴う交付金の改定は理解できない訳ではありませんが年々世帯数が減少傾向にあり役員のなり手不足もあり自治会の存続維持などを考えると簡単に減額して解決する問題ではなくむしろ逆効果に感じます。</p> <p>以前、町内会未加入者に関するアンケートで「未加入による不安や不便は特に感じない」という回答が多いという記事を見たことがあります。生活様式の変化により近隣付き合いの煩わしさを感じる一方、趣味や職場など別のつながりで十分と考える人もいることがアンケートの結果になったとも思われます。</p> <p>かといって町内会の役割が薄れてきているかと言うとそうではなく、一人暮らしや高齢者の見守り、昨今の自然災害の増加や防災防犯の観点からも地域で顔の見える関係はまだ大切だと感じています。</p> <p>ただ理想と現実の間で難しさはあります。無理のない形でつながっていければいいと思っています。</p>
	町内会の高齢化が進み役員も80才台で後継者はいない。役員が健康寿命を超えた場合町内会は存続できないのでは
	当町内にこの春オープンのアパート（10世帯用）がありますが、町内会へは加入させない事としました。
	規模の小さい組織なので（1）行事を行うにも予算に限られる。（2）一世帯の会費があげられない（3）75歳以上の比率が多いので屋外での行事参加が望めない。（4）様々の研修、講習会を行いたいが、参加人数が少ないため企画しにくい。（防災、避難、詐欺、お金に関する事、生活に関する事）
	世帯数減少又高齢化のため町内会運営には苦慮しております。役員もなり手がなく固定化しております。当然町内会活動も限定的になっております。今後は町内会活動にはもっともっと行政の協力・指導が必要と思われれます。又、特に旧本荘市内町内会は再編・見直しも検討する必要があるのではないのでしょうか。
	このたび広報紙の発行回数変更に伴い、行政協力事務交付金の減額がなされることになりましたが、行政協力事務は市広報紙の配布だけでなく、選挙公報、議会だより、県広報、社協だより、一斉清掃など各種お知らせの配布や赤十字募金、赤い羽根共同募金、社協会費、歳末たすけあい募金などの集金、ゴミステーションの管理、民生児童委員の推薦、市への要望事項のとりまとめなど多岐に亘っております。このようなことに配慮して交付金を算出していただきたい。
	昔からの町内なので、気持ちの分かっている人が多い分、問題は少ない気がするが、周りの町内をみても子どもが少ないので子供会は2・3町内合併した方がいいのではと考える。
	今回、広報紙の回数変更に伴う行政協力事務費交付金の改訂(削減)の説明会ももたれず通知されましたが、市と町内会の関係をどの様に考えられているのか、少し疑問を感じ、信封関係を傷つけられたと感じました。「市と町内会は信物関係が基礎」と考えておりますが、今回の一方通行での通知は「町内会をお金で使う平足」と言えばきつい表現かもしれませんが、市はどの様に考えているのか、疑問を感じました。見直しの基準が年内業務量で計算され、現状対比で減少するので削減しております。もし、時間をお金に換算するのであればもうひとつの基準が不可欠です。それは単価です。現状か妥当なのかの検証が欠けています。時間比で考えるのであれば、今回の金額は最低賃金の1/3より少し多い程度です。ボランティア精神というより、相互協力の信頼関係が基本であり、業務量と時間で説明する論理が、自分の根拠を失うことを理解されていないと私は思います。(財政)根拠が崩れる説明より、もっと率直に市の現状と協力依頼をされた方が、私は納得感がありますが、部長さんは、どの様にお考えでしょうか。
	市長は多忙かと思いますが、各町内の総会等に参加して色んな要望を聞いて欲しい。また、助言もお願いしたい。よろしくお願いします。
	町の中から店が消え、人の出入りが無く、夕方になると暗闇になり、こういう状態でどのようにして人を呼び込む事ができるのでしょうか。若い人もいたくないでしょう。市では区画整理、都市開発、駅舎建て替えにどれだけお金をかけたのでしょうか。結果今の市内です。
【本荘】	役員のなり手がいないことが多くの町内会の大きな課題であり役員を10年単位で継続している人も多い。人材の発掘と情報収集には努めているものの比較的若い会員の情報が不足しており情報交換の場を持つことの必要性を痛感している。行政協力事務交付金については、今回交付額が減となったものの町内会予算にとって重要な財源になっていることから引き続き交付していただけるよう強くお願いしたい。
	①ゴミ回収が行政の業務である以上、ゴミ集積所の維持管理も行政主導で行っていただきたい。多少の補助金はあるものの、会員の減少、物価高騰により予算運用も厳しく成って来ており、ゴミステーションの更新も簡単ではなくなってきている。木製品のステーションを風雪から守る事も人手が時間を要し厳しい状況にある。町内会費の値上げも無理であり、町内会の負担軽減が、将来まで持続可能にする鍵と考えている。②非会員のゴミステーション使用に会員の不公平感が一段と高まって来ておりその解消に取り組まざるを得ない状況となっているが、ゴミステーションの維持管理更新とその使用について町内会がすべて取り仕切る事には限界がある。お互いに納得のいく回答を市に求めます。③町内会活動、事業、イベント内容に対しての補助をもっと柔軟で扱いやすい対応を求めます。
	市からの文書「行政協力事務交付金の改定について（お知らせ）【由本地第54号】」によると、令和8年4月から市政だよりの発行数減に伴い、行政事務協力員の事務負担軽減が図られることを根拠に、「行政協力費の算定基準を減額」する旨の通知がありました。当町内会における行政協力事務作業の現状を見れば、「市政だよりの発行数減」を根拠理由として、行政協力員の作業負担等が、大きく軽減される状況には、無いものと考えられます。その理由としては、市からの広報物や各種行事案内等に係る作業時間よりも、各種募金事務や、募金による集金事務取りまとめ等の作業時間の方が、精神的負担も加えて、大きなものと思います。これからも、市として「行政事務協力員の担い手」を維持するのであれば、あわせて、募金活動事務対応の軽減や、募金活動自体の見直しを図っていただくことを強く望みます。当町内会では、現状、次世代の「行政事務協力員」の担い手になる方が、おりません。今回の市当局の「行政協力費の算定基準を減額」提案は、あまりにも事務的であり、かつ、「上から目線の提案(お知らせ)」との印象を受けております。もちろん、広報発行にかかる市職員方々の負担軽減や財政負担軽減の事情を考慮すれば、「市政だより発行回数の減」は否めないものとも思います。提案として、「行政協力費の算定基準」は、当面、現行通りとしていただき、1年後ないし2年後を目途に、あらためて財政状況や各町内会の行政事務負担の度合いをみてから、算定基準を減額提案するなどの対応をしていただきたい、との提案がありましたことを申し添えたいと思います。最後になりますが、あまりにも、「市当局の広報発行事務、負担軽減」を理由とした、算定基準の減額提案については、町内会として簡単に受け入れる状況に無いことを加えたいと思います。
	役員のなりてがないのが致命的。町内会の活動は基本的には奉任活動ではあるが、誰しもボランティア活動をしたわけではないのでやむを得ない面もある。それなりの見返りは必要。その点、交付金？の減額は逆行
	市への要望事項に対する回答は、当初回答だけでなく中間、年度末に実施状況等の回答をお願いしたい。今後検討するとか要望に対する、積極的な受止め姿勢を感じていません。また、現地確認等で手が回らないのであれば、町内会へ依頼し随時状況を把握できる仕組みを検討してはどうか。
	当町内会も高齢化が著しく、老人クラブ活動も町内会活動も同一人物が行って状況に有りあり、役員も大半は兼務している状態です。二つの組織を1つにまとめて市からの補助金等も1本化して効率的に運用するべきと考えます。
	本アンケートで施策の一助にする事も良いと思いますが町内会の役員会や総会等へ出席する等、生の意見交換することも良いと考えます。
	①町内会館がないため防災備蓄場所がなく困っている。②町内会代表としての会長が対外的対応を1人でやる困難さがある。③行政協力員兼務なので大変④行政協力員制度を業務別に内容を明確にし交付金対応もその対象をわかりやすくすべき。（町内に用途を委ねているが行政協力員の交付金と行政協力事務を分けるなど）⑤住民の自治会への参加は自由としても自治会ごとに対応が異なるのは転出入の市民もご都合主義の者がいるので問題。行政として、ルールを明確にすべきと想う（町内としてやりにくい）。※未加入者への対応でもあいまいなため不公平感がある。（当方は前任者引き継ぎで未加入者へも広報を届けている。）※このアンケートも「のれった」のアンケートも期間が短いため対応が充分にできない。（町内の集会を持つ時間がないと住民の状況や反応は把握できず回答しづらい。）
	集合住宅は家主に町内会加入を促し会費を頂き各個人からは徴収せずに広報配布の対象としている。

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

	<p>役員の担い手不足で難儀している町内会では、公務員の方々にはそれなりに活動協力を期待もしているはずですが、市役所職員・OBの町内会脱退が聞こえています。事情は様々でしょうがなんということでしょうか。職員に対し、「地元に戻ったら町内会活動への協力」を「訓示」としてその意識づけを図った歴代市長の話も聞いていますが、昨今はどうでしょうか。町内会役員の任期には「再任を妨げない」の文言があり、人材不足と相まって長期間に亘り役職を離れられない現実がある。志が有ったの立候補制や推薦・選挙と違って、当番による輪番制においてはその役割分担も難しく、ボランティア的な活動が私生活を圧迫しかねない状況を危惧している。行事・集会が減少し関わり合いが少なくなり、町内会の意義やメリットを問われる場面もある。2024年に大館市の某町内会解散のニュースが有りましたが、他人事ではない解散風が懸念される。</p>
	<p>若い人に町内会加入の必要性を市からももっと発信していただきたい。</p>
	<p>当町内会には公民館がないので町内会員が通年、各種会合等で集まる場所がない。総会や役員会においては、他町内の公民館等の使用をお願いして使わせていただいている。このような現状では、町内会としての活動には一定程度の制約がある。</p>
	<p>ゴミ集積所については大分前から町内会の管理になっていますが、ほとんどの町内会では会員以外の方は使用禁止または負担金の支払いなどで利用していると思われる。町内管理のため、そのような措置は当然だと思いますが会員以外の方も市民税を払っている市民のため、自由に利用できる状態にするべきだと思います。ほとんどの町内会も苦勞していると思いますのでご検討・調整をお願いします。</p>
	<p>役員の世代と子育て世代の交流がほとんどない。今の子育て世代は他地域から移って来た方が多いので、人柄が分からず役員を頼みにくい。昔からの会員の子供は、独立して残っていない。 役員世代70代?はまとまりがあり、老人クラブ活動など普段から活動が活発です。子育て世代は、活動後の懇親会に参加しない方が多いので、顔見知りになるのが難しい。 子育て世代向けに行事を考えているが、その世代の関心事が分からない。家族や子供優先の生活のようで、土日は予定がある方が多い。勤務も交代勤務が多く土日の勤務もある。これからは、多くの方が揃う様な行事は出来ないと思う。昨年の石脇夏祭りの様な一大イベントでもない限り難しい。 私は役員のなり手が少ないなら、それで出来る範囲でやるしかないと考えています。こういう活動がしたいと申し出て来た方に予算を渡してやってもらおうと考えています。役員になれば義務ですが、やりたいイベントを企画すれば臨時の役員として活動してもらおうと思います。</p>
	<p>デジタルによる広報（QRコード）が進んでいく取り組みに相反し、高齢化が進んでおります（操作弱者の増）。月1回発行となる広報の紙面の充実を望みます。</p>
	<p>町内会加入者でも近年退会者が増加しています。転入者も新規加入してくださる方が少ない現状です。・ゴミステーションの管理が市から町内会に移された事により町内会の負担が維持管理の上で大きいものがある。・加入者の年会費(6000円)に対し、未加入者のゴミ管理経費として年額2000円を徴収しているが、この金額の低さも退会者増の一因になっており、増額を検討していく。他町の額の比較では低すぎる。◎市の取組として他県での例にもみられるが、町内会活動の推進を図るため、条例の制定若しくは、支援を図ってほしい。</p>
【本荘】	<p>会員の高齢化や会員の死亡で非会員になる世帯が多くなっている。役員のなり手がなく会の継続が危ぶまれている。市からの各種補助金の申請事務が繁雑で次期役員への引き継ぎのネックになっている。</p>
	<p>昨今転入してきても町内会加入のすすめを配布していますが一向に特に若い世代の入会がない状態です。町内会に加入するメリットが中々見いだせない状態です。このままで行くとますます退会者が増える感じです。何か良い方法がありましたらお知らせください。自治会は大変必要と感じております。</p>
	<p>町内会運営は世帯数が多すぎても少なすぎても会長はじめ役員負担になると思います。班制の町内もあるかと思いますが、役員選出が皆さんかなり負担になっていると思います。（うちの町内です。）世帯数の割に後継者がいない、未婚である、色々な要因で町内会存続は今後10年程度だろうと感じています。（うちの町内です。）仮に他町内と合併となれば、参加世帯（加入）がうちの町内からいるのかどうか不明です。私個人の意見ですが、町内会へ加入しているのはなぜか？というゴミを出せるからです。私以外でも相当数います。町内会に期待は誰もしていないので、何かイベントをやろうとしても協力は得られないのが実情です。</p>
	<p>行政協力金は印刷物の配布回数が減少する事と関係がないと思いますが、それならば世帯割り額を半額にして均等割額はそのまま良かったと思う。北ノ股町内は家数が少ないので打撃が多すぎます。</p>
	<p>宮沢町内では、親子2世代で同居している場合、広報の配布は2世帯分ですが、町内会費は1軒分を貰うようにしてます。</p>
	<p>公民館等の老朽化にともない、修理を必要としますが工事費用の支援をお願いしたい。</p>
	<p>助成金の拡充（役員手当（組長含む）年間124万円（7年度）、市女性49万円）・募金活動を町内会役員から除外してもらいたい・選挙の立会人を町内会役員から除外してもらいたい・国勢調査の調査員を町内会役員から除外してもらいたい</p>
	<p>新ステーションの助成を増額して欲しい。・当地域には、県立大本荘キャンパスがあり、全国から来た若者に本荘を知っていただく大切な4年間、大学院6年間である。地域住民との交流を通して、全国に発信しなければならない想いである。新入生が、毎年450人余り入学して地域コミュニティ活動で交流し、クリーンアップ、花壇等協力をお願いしている。学校祭での地域住民との会話で「熊対策ロボットの研究、屋根の「除雪ロボットの研究」等、興味深い内容もありこれからの秋田に必要な研究内容も多さんありますので、これからも交流を通じて地域活性化に取り組みたいものです。</p>
	<p>町内会の活動（行事）を実施するにあたり、会員数が少ないため会費の負担が大きい。</p>
	<p>回覧板、町内には回覧する制度がありませんので、広報に載せるか配布するかにしてください。</p>
	<p>近年再雇用や雇用延長者が増えて役員のなり手が少ない。また、結婚しない若者が増えその結果子どももすくない。</p>
	<p>（1）行事に参加するメンバーが固定化されている。（2）防犯、防火活動、高齢者世帯への見回り活動が大切と考えるが、講演会等行うも参加が少ない。また、老人クラブの加入呼びかけするも加入者が少ない。※参加呼びかけ方法等考えなければならぬ等苦勞です。</p>
	<p>若い人はいろんな物で情報を得る事ができるので、町内会は必要ないと思われる。高齢者は助け合えないと生活できないので町内会が必要だと思う。高齢者には若い人が必要だと思う。若い人と高齢者の必要な物が違い、住む場所も違うので、町内には若い人が少ない。</p>

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

【矢島】	<p>行事に対して参加者が少ない。</p> <p>私の丁内は各役員が会社員や勤めている方で平日の市の会議や行事への参加が難しくなっている。役員に関係のない代理の参加でもよいのですか。たとえば、行政連絡協議会、地域防災、など</p> <p>以前に行政事務交付金を削減する旨の通知が有った様に思いますが、いつからどれ位削減されるのか教えて頂きたい。来年度の予算に関わることなので、早急に回答をお願いいたします。</p> <p>旧開拓道路（針ヶ岡～花立）が非常に痛んでおります。車がやっと通れる場所もあり危険な所もあります。予算の件もあると思いますが少しづつ直していただけないでしょうか。</p>
【岩城】	<p>10年ほど前まで町内会にかかわって新しくはじめるとか、やめるとか変更する場合、事前に行政協力員会議で説明し、意見を聞いて決めていって、ていねいであった気がしている。今でもそういう手順でやっていることも多いが、決定したことを説明するだけの様な感じのときや、説明もされなかった時も。チャレンジデーがなくなった時は、それを新聞で知ったが、その後に開かれた行政協力員会議ではあいさつでもふれなかったし説明もなかった。負担だったのでなくなったことは歓迎したが、やっている時はあれほど意義を強調していたので何か一言ほしかった。2年前には避難訓練の期日が急に変更になった。市役所内の事情があったのだと思うが。シェークアウト訓練も説明なしに導入され、参加者にどう話すか困った。</p> <p>自分本位でアンケート回答しています(町内会の総意な回答ではないかもです)。</p> <p>問16：住民数減、高齢化率増が加速すると5?6年後には単独での活動が困難になると考えられる。単純合併の検討ではなく、活動単位で他の町内会と協働できないか、事前検討してみる必要に気付かせられた。</p> <p>問21：受取る側の状況(環境)に合わせ、日週月などの単位で都度複数選択・登録が可能であれば、連絡受信漏れ防止につながると思う。</p> <p>なぜ行政協力事務交付金を改定しなければいけないのか？</p> <p>寡頭制いつまで続くのか。明治は藩閥、戦時は軍閥、昭和は自民党、政治は人々をすくえるのか？おごれるな自民党！</p> <p>町内会が少人数、高齢化しているのみならず、町内会長等も高齢であり、町内会活動の実施に負担を感じているため、活動の活性化は困難な状況にある。転入者や会加入者もない状況から、隣接町内会の合併促進を市側で図ってほしい。</p> <p>市経費削減で紙ベースでの配布物がなくなり減り、電子メール等に移行すると町内会や会長のプリント用のインクやコピー紙代が増える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内道路（R341）の穴ポコが目立ち、危い。（舗装依頼） →岩城産業建設課に状況共有済</li> <li>2. 流雪溝ポンプ（3号ポンプ）周辺が暗く、早朝ポンプスイッチを入れに行く際、滑って転んだり危い。→岩城産業建設課に情報共有済</li> <li>3. 防災訓練時の市の対応についてですが、訓練後の講評や防災グッズの紹介があってもいい。</li> <li>4. 町内に使用している施設（天鷲会館）の老朽化が進み、いざといった際の避難場所（近くの場所として）に悩んでいます。</li> <li>5. 行政協力員会議や研修の内容については、町内総会で報告し、情報共有しています。</li> </ol> <p>自治会会員世帯が減ってきており、最低限の自治会運営に向けての改革を令和8年度より実施したい旨、この3月総会に提案したいと考えています。</p> <p>18世帯33人中、75才以上20人、60才～74才7人、3人以上世帯5世帯の限界集落のため、全ての者が家を守るため仕事をしている。しかし、まもなく先が見えてきている。また買い物をするために亀田へ行くより大内が近いスーパーもある。また医療も松ヶ崎診療所や大内・本荘・秋田が主であり、自家用車がない限り買い物ができない。そのような村社会を維持するためには、それぞれの高齢者が頑張るしかない。コミュニティのあり方について話し合っても子供のある二世帯の場合であれば全て親任せである。結局話の結果はなるようにしかならないと言うことにとどりついでしまう。今をいかに生きていくかで住民皆が精一杯である。</p> <p>それらを改善しようにも老人が集まり、老人の考えでしかない。多くの情報が皆もっているが改善する気力がなくなっている為、見守ってやるしかない状況であります。駅があって電車が止まるが行く先から心配ため自家用車利用である。人数が少なく思相信条が違い昔の集落のなごりが強い老人（親の事態に似てきている）集落、酒も飲まなくなり家というカラに閉じこまっている者達のコミュニティのあり方が問われている。</p> <p>高齢者がだいぶ多くなりました。家族が居る人はいいけれど、ひとり暮らしの人を見守にしても町内としては負担になってきています。</p> <p>コミュニティバスをもっと広く活用は出来ないのでしょうか？病院、買い物など交通手段がない人</p> <p>鶴潟3区町内会は町内活動への理解・協力もあり良好です。今後、単独の町内として活動を維持していきたいと考えています。</p> <p>役員のなり手がいないため、運営・活動はほとんどされていない。行政からの支援（活動資金・各種支援等）以前の問題である。このままでは町内会の解散も考えざるを得ない状況にある。また会員にも危機感がなく、参加意識も低い。</p> <p>昨年ゴミステーションが壊れて、新設に37万円かかったが、補助はわずか5万円だった。町内会で対応するのはかなり大変。本来行政で準備してくれてもいいものだと思う。補助はもっと増やすべきだと思う。町内会未加入者も町内会で作ったゴミステーションを使っていいとするなら、なおさらそう思う。</p> <p>緑ヶ丘集会所の譲渡を拒否したことから、雨漏り寸前の屋根修繕について行政支援も自費修繕も認められませんでした。指定管理者として令和7年4月1日～令和17年3月31日まで認可されていることから、今後は雨漏り等施設の老朽化を抱えながら町内会活動の拠点として活用していきます。</p> <p>指定管理期間終了後の再指定は難しいのではと考えており、町内会活動の拠点を失います。その場合は、町内会を解散してゴミステーション管理業務のみ残すことになるのではと危惧しております。</p> <p>由利本荘市広報等の配布等行政協力事務は、これまで町内会長及び各班長が担ってきましたが、解散後は、個人的に任意で担当する行政協力員に一任することになります。</p> <p>防災組織があるが、発電機等を購入するに当たり、補助金半額程度でも財源が中々厳しい。市からの貸与できる方法を検討してほしい。</p> <p>地縁団体を解散する時期がいずれくる。</p>

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

【由利】	町内の会館やごみステーション等の修繕や維持費などの経費は小世帯数の町内会ほど一世帯当たりの負担が多くなる。このようなことを考えて補助金等の施策を考えてもらいたい。	
	広報物等のペーパーレス化を考えても良いのでは？	
	今回、印刷物の配布回数の減少を理由に、行政協力事務交付金が改定された。金額の多寡を述べるのではないが、均等割額（27,100円）、世帯割額（400円）の設定根拠を知りたい。また、市広報の配布については行政協力員として委嘱されているのでその任と思うが、市以外の配布物を一緒に依頼される根拠を知りたい。（社協からは福祉委員として委嘱あり）	
	若い人材が少なく、年配の方の負担が大きい。 一般的に女性の役員が少ない。 もっと女性が参加しやすい環境を作るための施策はないものだろうか……	
	子供が居る世帯・労働者世帯・隠居世帯で求めることが全く違うので、残念ながら一概に活性化を求める物では無いと考えます。 集落会アンケートにて、集落会行事・役員等での束縛（時間が使われる）されたくないと考えている人で全体の8～9割にも及ぶ結果なのです。	
	敬老会補助金の増額 65歳参加で1000円の補助検討	
	町内たとへば由利地区にいろいろなものがなくなりつつある 店、信用金庫、しせつなど	
	当集落の状況については一戸になった時相談に行った際、担当された方の言われたとおりやっているつもりであり、ごらんとおり、何もできない状況なので、御気づきのことがあれば宜しく御指導おねがいします。住民サービスに特に不満はありません	
	【大内】	①高齢者の増加による参加者減少対策が必要 ②一人暮らし家庭の増加による将来の世帯減少が懸念される ③市からの交付金の算定根拠を公開すべきでないか(低額すぎる)
		町内会または、住民へのおすすめ情報を適宜連絡頂きたい！ 宜しくお願いします。
独居老人の増加、高齢による町内会の行事への不参加、熊による生活不安など インフラに関しても道路や河川の破損不整備が解消されない。		
年金支給開始延長に伴い、70歳くらいまで就業する例が多くなり町内会役員として町内会維持発展に協力没頭できる人が少なくなっている。そうした中で市や関係機関からの配布物や会議、行事への参加依頼等が多く会長業務の半分以上を超える負担に感じている。		
この度の行政協力事務交付金の減額について、 「主な業務である印刷物の配布回数の減少」を掲げていますが、 配布回数以上に、このようなアンケート調査をはじめ会議、行事等への出席や募金、寄付金の取りまとめのほか、通年にわたる各部署からの街灯や道路破損箇所の町内会長を窓口とした市への報告、災害調査、除雪による破損箇所の報告等、諸々の業務に係る協力交付金であったと認識していた町内会長が多く、広報配布回数の減少という一部局の些細な事案による減額に憤慨していると思われます。		
①町内会事業の中で講話や演芸などお願いする場合、講師料や謝礼が大きいため、市で育成している芸能芸術団体、由利高民謡部などをお願いした場合のお金の補助や車代など支援してくれれば双方にとって有益と思う。②募金業務は早急に改善してもらいたい。「募金と言う名の振込サギ！」と揶揄されている。IDパスワードなどで各人が自主的に対応できるよう仕組み、依頼団体にはクラウドファンディング含め今の時代いくらでも可能。市も市長中心にデジタル化進めているのだから早急に対応して頂きたい。		
町内に空き家が多く、半倒壊状況家屋からの飛来物や冬季における除雪が不十分で隣家への負担が増加している。 流雪溝対応している町内会としては、平日日中の除雪は、仕事に従事している家庭にとっては大きな負担となる。大事に至らない程度の降雪量の時は重機による除雪は極力控えてほしい。		
行政協力員の主な業務は、広報紙等の印刷物の配布ではないと思う。他にも市と市民のパイプ役としての仕事がある。・市の行事、会議等への出席は極力なくしてほしい。・会議出席は、費用弁償とした方が良いと思う。		
町内会の合併の場合に問題となるのは各町内で所有している林野等の共有財産をどのように処理するかだと思います。		

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

	協力金、他集金項目が多い。
	人口減にコロナが拍車をかけ活動が縮小した。 活性化は、見出せない。
	こうした折に敬老会が町内会（自治会）主体となったが、2年間の任期で計画・実施することが出来なかった。小規模な町内会は人、予算も少ないので行政が先導してほしい。
	住民の高齢化、若者不足に加え、コロナ発生以来、活発な地域活動は難しくなっている。人口が増える見込みも無い状態で限界を感じている。
	私事ですが、住吉分館長もつとめ、その間春の運動会等実施してきましたが、コロナ以降全て取りやめました。それに変わりハッチョウトンボ生息の環境保護活動に移行しました。会運営員6～7人で、5月、7月と年2回草刈り等の作業を実施してきました。しかし、分館活動もR7年度をもってなくなる事が決定しています。今までは分館活動として作業手当を支給しましたが、これに変わる活動手当等はないのでしょうか。それとこの会員で旧住吉小学校校庭の草刈等の手入れを実施してきましたが、これもなくなると全て市の方でやっていただけるのでしょうか。私としては今後もハッチョウトンボの保護活動は続けていきたいと思っています。市の支援宜しくお願いします。
	各集金について一律集めるのについては自治会に交付せず直接支払ってほしい。ただ手間が掛かるだけで意味がない様に思える
	各市所だよりが閲覧出来る様になればいい。 市報も全戸配布でなく、市のホームページで見れるので、登録制にして欲しい！
	生活応援県の抽選の意味がわかりません。 前回の時に申しましたが外れました。 どういう抽選の仕方をしているのか説明してもらいたいです。 ポイント還元など若者にしか使えません。
【東由利】	ほんとうに迷っている年寄りには全く効果がありません。
	スポーツ交流大会を多くするのがもっとり早いと考えるので増やしてほしい、参加人数が多ければ、顔を合わす機会が多くなり効果が大きくなるのでは 面談する場が増やせて話題が多く出て来る。
	地域を活性化させる為のイベントなどへの補助金について持続可能な内容にして頂きたい。例えば敬老会、参加者には2,000円それ以外には1,000円などなっていますが、その会を開催するのは誰？を考えていただきたい。現在は、ボランティアで自治会長たちが開催していますが、今後担い手を交替していく過程で若い人たちはそれを強いて続くはずが無いと思います。高齢化が進み自治活動で若い人への負担が大きくなり、自治会が崩壊していくのではないかと心配です。
	何をやるに於いても人が少ない、厳しい今日この頃です！居たとしてもそれなりに事情のため色々。他の部落も同じ様なものなのか？大体検討はつくけど・・・！※昭和時代は人も多くそれなりに何をやるにも活気があったが今はどうしようも無い程・・・やりきれない淋しさ！
	広報ゆりほんじょう、を大きい封筒に入れなくてもいいです。輪ゴムで束ねてもいいし封筒がもったいない感じます。時々配布枚数がちがっているのを確認してほしい。
	去年6月、市に側溝の設置（2か所）のお願いを（自治会を通して）したが何の連絡もないです。依頼した人は、行政に不信感を抱いている様です。
	町内会館の維持が困難で近い将来、市で管理する集会施設を利用したい。
	これから先を考えると、何年この部落が存在でできるか不安です。
	集落全体の高齢化が、進み何をやるにも負担が大きくなって来ている。 年2回の道路の草刈りをお願いしたいです。昨年も（市役所）役場の方で行って頂き大変助かりました。今後も継続してほしいです。
	空家についても、所有者に積極的にアピールをして対策をとってほしいです。熊の出没も多くなってきている中、空家を住家としてされることも考えられます。未然に事故を防ぐ為にも、とにかく対応をお願いします。
	いろんな行事があるが自治会で参加することがないので何が起きているのか正直分からない。よその地域のことのような気がする。
	少子化、高齢化、世帯減で、今後ますます自治会の活動は厳しくなっていくのではないかと。

## R 7 町内会アンケート 自由記述欄まとめ

【西目】	<p>町内会に加入しないと、町内会が管理するゴミステーションは利用できないことが、未加入者に理解されておらず時々トラブルになる。</p> <p>高齢化、人口減少に直面している町内会には、大きな課題です。</p> <p>私はコンパクトシティ構想の推進を提案します。</p> <p>町内会費は約30年同額で事業をしています。高齢者世帯が増え少しずつ施設への入居で空き家になってます。（町内会費の免除等実施してます。）年間5世帯が対象になりつつあります。所有者や親族の方へは空き地にするようすすめてます。</p> <p>募金の集金業務について、どうして町内会で集金し納入するのか？</p> <p>4月緑の募金1000円、5月青い羽根募金500円、6月交通安全協会費5000円、6月日本赤十字社資10000円、社協会費5000、10月複十字ハンセン病500円、11月赤い羽根募金5000円、12月歳末助け合い募金1000円、8団体に毎月のように集金・納入を繰り返す、この行為は何なのでしょう。できれば別の方法で考えて欲しい。総額638,600円大変な労力です。</p>
【鳥海】	<p>町内会会員の高齢化が顕著となっており、行事の企画や運営、行政からの配布物の処理などに苦慮している。何年後になるかは分からないが、いずれは町内会の合併も必要ではあると考えている。</p> <p>前記したように国・県・当由利本荘市を考察するに当地域は衰退するのが現状だと感じていますので市長（湊氏）の（費用対効果）人口減の地区大災害（子吉川本状地域）に予算配分は納得できますが、行政改革の名の元に市道の道路維持もできない様な現況に直面している我々には目が向いていない様に強く思っています</p> <p>今後、中山間地においては、世帯数の減少が進行し町内会(集落)の統合は避けられない。住民だけでは話しが進まないと予想されるので、市の仲介など支援が必要。</p> <p>また、町内会役員は、敬老会などの一部行事を2～3集落まとめり広域的な実施を提案し、住民に少しずつ慣れてもらうことも大切だろう。</p> <p>近隣部落含め限界集落化が急速に進んでいることから、これからは基幹集落な町づくりが必要になってきているのではないのでしょうか。</p> <p>広報の配布ですが、矢島地区では一軒一軒の配布物を仕分けて会長宅に届けるそうです。鳥海ではできないのですか？負担軽減のため、ぜひ鳥海でもやってほしい。</p> <p>問21(7)電子回覧板システムとは？現在交付されている市敬老事業補助金額では物価高により記念品の購入に難儀している。</p> <p>高齢者世帯(単身、夫婦のみ)の割合が年々増え、5年後、10年後には櫛の歯が欠けるようになり、衰退していく集落の状況をとても懸念している。</p> <p>また、空き家問題も、今後顕在化すると思われ、心配している。</p> <p>助成金等報告手続きを簡単にすること（担当者変更時の度、難しくなる）。道の駅の運営、加工所の継続に向け、市が支援し、継続してほしい。横断歩道の塗装秋にやること。除雪による道路の陥没を速やかに修復すること。</p> <p>山間部と本荘市内の差がかなり出てきて、住民からは不平不満が多くなってきている。色々な施設が無くなり交通網も無くなり…地域を切り捨ててるとの住民が多くなってきている。今までイベントやいろんな行事も今後のやる気がなくなってきた！との声も多く低迷していても皆で力を合わせてやっていた行事さえもやらなくなってくると懸念されている。高齢がなればなるほどデジタル化は難しく...市の今後の対応は不安が大きい。</p> <p>行政協力員は広報だけの配布係ではない</p> <p>町内会で行う行事は①クリーンアップ②お盆の道路清掃及び草刈り③道路公園植木当冬囲いがあります。春の冬囲いの取り外し等は自主的に数人が行っています。樹木の冬囲いは木材・ネット・縄等で経費がかかりますが、維持するにはこの行事は欠くことができません。3つの行事で市の補助が20,000円あります。どうしても不足しますので、町内会の会計から負担している状況です。</p> <p>部落会館の維持管理（夏の草刈り、冬の雪寄せ、選挙の投票所とかに使用されることも）</p>